

第6回 総合計画審議会 会議録

召集年月日	平成28年1月20日(水)			
召集の場所	白馬村保健福祉ふれあいセンター2階 学習室			
開閉会の日時	開会	午後2時00分		
	閉会	午後3時25分		
出席者数	22名出席			
出席者	区分	役職名	氏名	出席
	教育委員会委員	白馬村教育委員会委員(会長)	伊藤 公一	○
	公共的団体の役職員	白馬村体育協会会長(副会長)	山岸 忠	
	教育委員会委員	白馬村教育委員会委員	塩島 弘之	○
	農業委員会委員	白馬村農業委員会会長	松沢 正猛	○
	公共的団体の役職員	白馬村民生児童委員	矢口 緑	
	公共的団体の役職員	白馬商工会長	杉山 茂実	○
	公共的団体の役職員	区長会会長	山岸 弘明	○
	公共的団体の役職員	白馬村消防団団長	横山 義彦	○
	学識経験者	まちづくり白馬友の会会長	松澤 恵也	
	学識経験者	神城婦人会会長	田中 みつる	○
	学識経験者	北城婦人会会長	眞島 宣子	○
	学識経験者	白馬村スキークラブ会長	太谷 陽一	
	学識経験者	白馬村シニアクラブ会長	吉澤 豪俊	○
	学識経験者	大北農協白馬支所長	内川 武文	○
	学識経験者	白馬村索道事業者協議会会長	駒谷 嘉宏	○
	学識経験者	白馬村観光局長	北村 興二	○
	学識経験者	白馬村ボランティア連絡協議会会長	太田 洋子	
	学識経験者	特別養護老人ホーム白嶺所長	南沢 裕子	○
	学識経験者	白馬村金融団幹事長野銀行白馬支店長	宮島 賢次	○
	学識経験者	白馬村建設業組合長	塩島 正	
	学識経験者	観光地経営計画委員	ケビン モラード	○
一般公募	公募委員	宮脇 哲也	○	

	一般公募	公募委員	藤田 直子	○
	一般公募	公募委員	富山 正明	○
	一般公募	公募委員	高田 愛史	○
		株式会社 studio-L	小山 弘二	○
	事務局	白馬村役場総務課 課長補佐	松澤 孝行	○
	事務局	白馬村役場総務課 企画係長	太田 俊社	○

1. 開 会

【事務局 総務課企画係長 太田】

開会を宣言した。

2. あいさつ

【伊藤会長】

お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。年が明け最初の審議会となります。本日もよろしくお願ひ申し上げます。年末年始、雪不足で深刻な状況でしたが、やっと白馬らしい景色となり、3月までまだまだ雪が降ってほしいところです。

先般、皆さんにご検討いただいた総合戦略を12/24に私が代表して村長様へ送信させていただきました。

いよいよこれから総合計画ということになりますが、各担当課からいろいろな意見がありまして、今日説明していただいた中で、次回からの素案を検討していただくこととなりますので、よろしくお願ひいたします。3月まで、何回もご足労を願うことがありますが、よろしくお願ひいたします。

3. 協議事項 (伊藤会長が進行を務める)

(1) 白馬村第5次総合計画施策の大綱 庁内検討結果について

【伊藤会長】

事務局に説明を求めた。

【事務局 総務課企画係長 太田】

検討結果について説明する前に、前回資料の②施策体系(素々案)の7つを事務局のたたき台ということで、お示ししました。その後、庁内の策定委員会でこの施策のそれぞれの現状の課題、取り組むべき施策を挙げましたので、今回はその説明をさせていただきます。

(以降、資料を基に説明)

以上の説明について、後日文章でそれぞれの施策について足りないもの、修正等忌憚のないご意見をいただきたいと思ひます。いただいたご意見につきましては、株式会社 studio-L と連携を取り基本構

想に活かしていきたいと考えています。

また、この説明の内容にご不明な点がございましたらよろしくお願いいいたします。

【伊藤会長】

意見を求めた

【 委員 】

外国人居住者の問題が書かれているが、居住者に外国人も含まれていると、インターネットにも書いてあるが、これらの人たちがどれくらいの数になってどのような形で白馬村に暮らしているのかというデータが全くない。外国人だけで一家を形成しているところもあるだろうし、あるいは日本人と結婚して夫婦のうちどちらかが日本人という家庭もあると思う。そのようなデータを出していただければ、今少し状況がわかるのではないかと思う。

もう一点、行政区の問題が取り上げられ、見直しという書き方になっているが、あまりピンとこない。例えば今一番大きな行政区は飯田だと思うが世帯数 300 を超えて 400 に達するところもあるだろうし、立間はせいぜい 5,6 しかない。これを再編成しようということなのか、行政区の見直しについてどのような問題点があるのか、ただ見直しではよくわからないと思う。

【事務局 総務課企画係長 太田】

まず居住外国人のデータについてですが、今手元がないので公開できる範囲でご意見を依頼する際にデータを添付させていただきます。

行政区の見直しについての具体的な施策については庁内で意見が出たわけではありません。ただ、昨年 11 月の地区役員懇談会では年々各地区の構成員が少なくなっている、また高齢化が進んでいるということで地区の活動も難しくなっているといったご意見が強くなっています。今は一律で行政区を考える時代ではなくなっています。地域にあった行政区があるのではないかと内々の意見は出ています。行政区のあり方についても検討していきたいという内容で資料に出させていただきました。

【 委員 】

素晴らしい資料だと思いますが、若者のために年間雇用をする方針を進めるということだが、それが成功しても白馬村に永住する若者が増えるのかが問題だと思います。県外の若者が白馬村に入ってきて永住するが、村民登録しない人が結構たくさんいますので、そのような文章を入れた方がいいと思います。

【伊藤会長】

現状の認識や課題等では他に意見はどうですか。

【 委員 】

私の個人的な意見ですが、6「自然・景観保全・開発」の農地の保全のところ、法人に集約させるために補助制度を進めたいということですが、補助整備をしてしまうと、景観が殺風景になってしまう

可能性がある。今北城地区の田んぼはまっすぐに作っているのですが、効率が悪いと思うが、まっすぐの田んぼが全国的に減ってきていて、この景観が山の自然景観とある程度マッチしてくる部分もある。棚田などは観光資源として生かされていますが、それを全て補助整備したら誰も行かなくなる。白馬村の地形を生かして田んぼはできているので、それが一つの景観にもなっている。補助整備をするのは仕方ない面もあるが、景観に配慮した整備を進めないといけないと思う。

休耕地の使い方も例えば県外の方々に田んぼをやってもらうために開発するとか、観光と休耕地の問題を一緒に対処する等もう一工夫していく必要があると思います。

安易な開発に結び付けるのは、今の時代にそぐわないので、もう少し慎重に考えてほしいです。

【 委員 】

実はこの補助整備は国の施策で地域、国、担い手が作っていてこの補助整備全体の8割の耕地をその人たちに何年かの計画でお願いすると、個人負担0で農地が整備できる話が持ち上がっている。

北城地区は神城と違って白馬町、深空、新田まで昔のままである。今言われた問題は現在新田地区で出ている。江戸時代からある石垣のきれいな物を壊しても良いのか。新田の皆さんはお客さんを泊めているので難しい問題を抱えていて、もし事業をやるとしてもあの石垣をどのように残していくのか工夫をしなくてはならない。効率の部分でやるべきところと、景観や観光のために配慮しなければならないところと考えなければならない。

【伊藤会長】

補助整備に関わらず、景観保存はどの事業も付いて回る問題です。

この件につきましては、とりあえず持ち帰っていただき、後日検討いただくことにします。

(2) 総合計画策定にかかるインタビュー中間まとめについて

【伊藤会長】

株式会社 studio-L へ説明を求めた

【株式会社 studio-L 小山】

資料「白馬村総合振興計画策定業務 インタビュー中間まとめについて」、「総合計画の基本構想について」に基づき説明

【伊藤会長】

今の説明でご意見ありますか

【 委員 】

インタビュー対象者はどのような年齢層であるのか、それは開示されるのかを含めて、例えば高校生や中学生も対象に入るのかどうか、どのような方針でやっているのか説明つかないと、このこと自体が

問われかねない。

【株式会社 studio-L 小山】

基本的には、各テーマに関連しそうな方、前回も基本計画や村の基本構成に係る部分でお聞きしておいた方が良いと思われる方々を中心に役場の方や役付の方にご紹介いただいた方等にお聞きしております。

観光をメインにされている方が多く、福祉や暮らしの部分で意見が足りていないので、残りの日数でそのような方々に意見をお伺いしたいと考えています。

高校生や中学生に聞くことは考えていなかったが、校長先生や、先生方にお話を伺っている状況です。

【 委員 】

位置づけとして大きなウェートを占める基礎になる部分なので、バランスを考慮しないと良い結果にならないので、このようなことも考慮して進めてほしいと思います。

【株式会社 studio-L 小山】

前回偏りがあったので、今回それを是正する形で日数を設けました。

【 委員 】

将来を担うのは若い人たちなので、役付きの人に聞いても過去の話しかない。可能な限り若い人たちの意見を聞くようにしていただけませんか。

【株式会社 studio-L 小山】

今後若い方たちを追加で聴いて行きます。当然今まで聞いた中にも20代30代の方がいらっしゃるので、それらの方々からお友達をご紹介いただきお聞きするようになりたいと思います。

【伊藤会長】

最終的には基礎データのようなものが必要になるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

他に意見を求めたが、なかったもので、終了とした

4. 閉 会

【事務局 総務課企画係長 太田】

次回開催は資料に2/9とありますが、集中キャンプがございますので、2/18(木)14:00から場所は、ふれあいセンターの学習室でお願いいたします。

皆様から頂いたご意見、キャンプの結果を踏まえ、4構想の素案を提示したいと考えております。

閉会を宣言した。